

設 計 基 準

第 2 部

構 造 物 設 計 基 準

(橋 梁 編)

第 5 編 耐 震 設 計

平 成 23 年 11 月

阪 神 高 速 道 路 株 式 會 社

第5編 耐震設計

1章 総則	
1.1 適用範囲	5-1-1
1.2 本基準の適用方法	5-1-1
2章 耐震設計の基本方針	
2.1 耐震設計の基本	5-2-1
2.2 耐震設計の原則	5-2-2
3章 耐震設計上考慮すべき荷重	
3.1 耐震設計上考慮すべき荷重とその組合せ	5-3-1
4章 設計地震動	
4.1 一般	5-4-1
4.2 レベル1地震動	5-4-1
4.3 レベル2地震動	5-4-1
4.4 最大級シナリオ地震動	5-4-2
4.5 地域別補正係数	5-4-3
4.6 耐震設計上の地盤種別	5-4-3
4.7 耐震設計上の地盤面	5-4-3
5章 耐震性能照査	
5.1 一般	5-5-1
5.2 耐震性能1に対する橋の限界状態	5-5-1
5.3 耐震性能2に対する橋の限界状態	5-5-1
5.4 耐震性能の照査方法	5-5-1
5.5 上部構造の落下防止対策	5-5-2
6章 部材強度の階層化	
6.1 一般	5-6-1
6.2 強度の階層化	5-6-2
7章 動的照査法による耐震設計	
7.1 一般	5-7-1
7.2 解析法及び解析モデル	5-7-1
7.3 安全性の判定	5-7-2

8章 地震時に不安定となる地盤の影響	
8.1 一般	5-8-1
9章 免震橋の耐震性能の照査	
9.1 一般	5-9-1
10章 鉄筋コンクリート橋脚の許容値	
10.1 一般	5-10-1
11章 鋼製橋脚の許容値	
11.1 一般	5-11-1
11.2 変形性能確保のための構造細目	5-11-1
11.3 アンカー部の照査	5-11-3
11.4 鋼製ラーメン橋脚はりの面内方向の動的照査	5-11-3
12章 橋脚基礎の応答値と許容値	
12.1 一般	5-12-1
13章 液状化が生じる地盤にある橋台基礎の応答値と許容値	
13.1 一般	5-13-1
14章 地震の影響を受ける上部構造の許容値と上部構造端部構造	
14.1 一般	5-14-1
14.2 桁端部構造の遊間	5-14-1
14.3 伸縮装置	5-14-2
15章 支 承	
15.1 一般	5-15-1
16章 落橋防止システム	
16.1 落橋防止システムの基本方針	5-16-1
16.2 桁かかり長	5-16-1
16.3 落橋防止構造	5-16-1
16.4 変位制限構造	5-16-2
16.5 段差防止構造	5-16-2
16.6 ジョイントプロテクター	5-16-2